

佐賀大学（Ⅱ）コース

「北部九州DXリスキル地域連携プログラム」(DXリテラシー向上)

「プログラムの目的」

「北部九州DX人材プラットフォーム」を構築し、DX人材を育成することにより地域産業の競争力確保を目指す。

「プログラムの特徴」

DX推進にはDX技術だけではなく、ビジネス・ICTリテラシー向上が必要なため、共通必修科目として経営者講演・マーケティング戦略などを用意する。DX技術は3コースに分かれ、A)データ分析、B)業務改善、C)新規事業創出が実現できる内容とする。

「プログラム作成に当たっての企業・経済団体との連携」

産業構造のシフトが起きている北部九州において大学・高専5教育機関が連携して北部九州地域の企業等約550団体を巻き込むDX人材育成プログラムを開発する。従来より佐賀地域でICTリテラシー向上に取り組んできたMAIC佐賀連携の枠組みを最大限活用する。各関連企業からは実データや業務プロセスの提供を受け、受講生同士で課題を発見・解決するPBL型のワークショップを行う。



マイクロソフト AI & イノベーションセンター佐賀
佐賀大学、佐賀県、佐賀市、マイクロソフト社、
他7社連携組織

「身につけられる能力・スキル」

- 経営者講演：外部環境の変化の理解、DXマインド醸成
- DX技術各コース：ハンズオンによるすぐに使える実践力

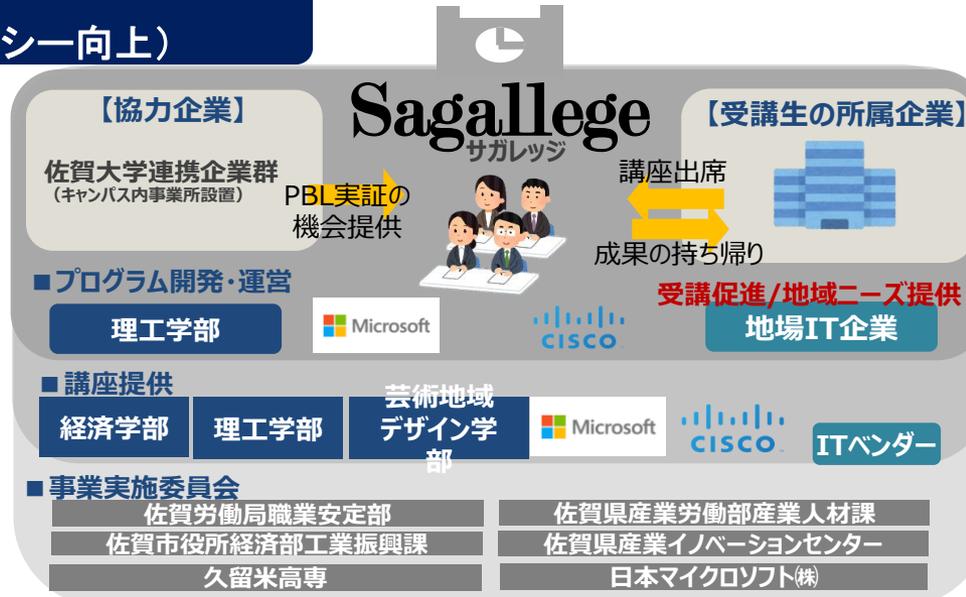
全コースを通して、応用情報技術者（ITSSレベル3）、ITストラテジスト（レベル4）の知識を習得する。

「作成プログラムの他大学等・連携企業等への横展開」

当事業実施本部にて各教育機関・連携企業を支援する体制を整備する。運営、募集、PBLなどノウハウの提供と紹介等支援する。

「受講期間・定員・部分受講者目標、その他数値目標」

全4ヵ月、合計40名（3コース A10名、B15名、C15名）、60時間
部分受講1,000名（定員25倍）、連携教育機関7、連携企業10



DX人材ニーズの提供 ↑ ↓ 講習横展開
プログラムスキームの提供

佐賀大学 × 佐賀県工業連合会
(166社)

佐世保高専 × 西九州テクノコンソー
シアム (127団体)

佐賀県ソフトウェア共同組合
(16団体)

有明高専 × 有明広域産業技術
振興会 (92団体)

西九州大学
佐賀女子短期大学
西九州大学短期大学部

久留米高専 × テクノネット久留米
(89団体)
大分高専 × 大分高専テクノフォー
ラム (59団体)

「北部九州DX人材プラットフォーム」の構築

「DXが理解でき、自社にとって必要なサービスを定義・外部に発注できる」
及び「自立的に学習を継続できる」人材を育成する

【共通必修】
ビジネス・ITリテラシー
#経営者講演
#経営戦略
#サイバーセキュリティ
#クラウド



A. データ分析機械学習コース【10名】

機械学習 # 統計手法 # マーケティング



B. 業務改善スペシャリストコース【15名】

BPR # RPA # ロードコード



C. 新規事業ハッカソンコース【15名】

顧客価値UX # ビジネスモデル # デザインシンキング